

## 「北海道花紀行」

○ 令和4年（2022年）7月6日（水） 晴れ

3年ぶり・新潟港からフェリーで小樽へ

まだ暗い早朝3時半に朋子に見送られて家を出た。外は霧雨が降りまだ暗い。厚木インターから高速に乗って圏央道に入ったが、ちょうど物流のラッシュ時にあたったようで、物流の大型トラックが切れ目なくいっぱい走っている。霧雨はすぐに上がり、狭山SAあたりで夜が明け、あたりが白んできた。鶴ヶ島から関越道に入り新潟方面へと走るが、今までの物流トラックは姿を消し道はガラガラ、時速90km位マイペースでのんびり走る。

上里SAで休憩、用意してきたサンドイッチで朝食をとった。雨はすっかり上がり青空も出てきた。腹が膨れると当然眠くなる。上牧SAに入って仮眠をとった。谷川岳を貫く関越トンネルを抜けるとそこには快晴猛暑の世界が広がっていた。気持ち良い青空の下を順調に走り、9時半に新潟亀田ICを出て一般道を見守り新潟港に向かったが、ここはいつも渋滞する道、今回も渋滞の中をノロノロ走り、10時前にフェリーターミナルに無事到着した。

出航予定は12時でまだかなり早いですが、もうすでに着いている車があり、私も車列のあとに並んで止めた。乗船の手続きを済ませ「16日に帰る予定で、フェリー予約はしていないが大丈夫だよ」と聞いたなら「16日の便はもう満席状態ですよ。ご希望の個室はもうありません」と驚きの返事が返ってきた。こりゃヤバイ！さっそくワンランク下の部屋を1室探してもらってなんとか予約した。例年ならこの時期は当日予約でも余裕で取れたが、今年はコロナの規制が解除され、「go to トラベル」も検討されていて、各自治体の旅行援助が実施されている現在、みんなかなり浮かれて旅に出ていることが実感された。どちらにしても帰りのフェリーが確保できてよかった。

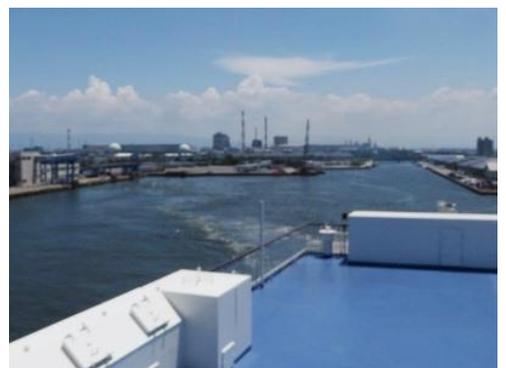
幸先よく快晴だ。乗る船は新日本海フェリー「あざれあ」で、11時20分に乗船開始。部屋は5階の5013号室、個室でテレビもあり予想した以上に居心地は良さそうだ。

新潟港を定刻の正午12時に出航した。いつものようにすぐに風呂に入ったが、なんと風呂は満員、さっと汗を流して出てきた。

定刻の12:00に出航、離れ行く新潟港を眺めながらここでしか飲めないビール(クラシック)を片手にデッキで飲む、これが毎回乗船してからやる私の定番行事だ。



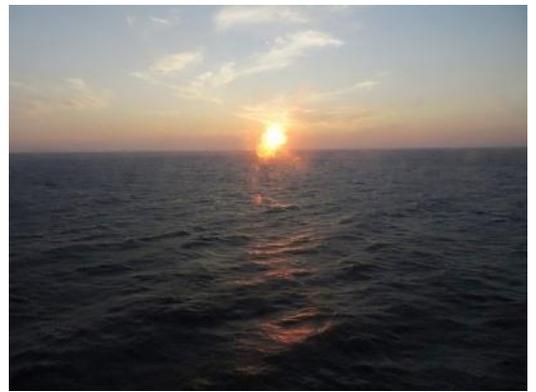
天気は快晴で波静か、白く泡立つ航跡を後ろに見ながらデッキで昼食をとり、今朝早朝からの運転の疲れもあり部屋に戻って横になり熟睡した。5時前に目がさめたので再度風呂に入り直し。今度は客もほとんどいないのでのんびりと入浴し、洋上の露天風呂も楽しんだ。



通路窓際の椅子に陣取り、日本海の水平線に沈みゆく太陽を眺めながら、用意してきた惣菜をつまみにビールを飲む、そして夕食。

これぞフェリーひとり旅のだいご味だ。

こうして今回3年ぶりの北海道花旅の幕が上がった。



\*\*\*\*\*

三年ぶりの北海道。三年ぶりの新日本海フェリー。三年ぶりなのでいろいろ忘れていたことがあり、またいろいろ様子が変わっていたりして、勝手に思い出せないこともあった。

フェリーが新しくなっていて、昔のようなシアターとかプールなどがなくなり、映画や大道芸や音楽会などの余興がなくなった。また中央に置いてあった多数の丸テーブルや椅子がなくなり、乗客たちが丸テーブルを囲んでビールを飲みながら歓談を楽しんでいる光景がなくなった。単に人と車と荷物を運ぶ船と化し、船旅の楽しさ面白さが失われたような気がした。ただ船の設備や客室はきれいになったが。

\*\*\*\*\*

## ○ 7月7日（木）晴れ

### 小樽から東川へ

よく寝た。3時過ぎに目が覚めそのまま起床。外を見てももううっすらと明るい、船はすでに小樽港近くまで来ているらしく、徐行している。4時30分、定刻に小樽港着。小樽は無風快晴、天狗山が「久しぶりだね」とやさしく迎えてくれた。

まずフェリーターミナルへ寄って朝食をとり、出発の準備。5時40分に今日の泊地・東川へ向けて出発した。

道の駅新篠津へ寄り道の駅三笠へ。

道の駅三笠は私がこの北海道紀行を始めた時、最初に車中泊をした思い出深いところだ。その時とは道の駅もすっかり変わった。規模が大きくなり、日帰り天然温泉ができています。昔は岩見沢まで行って銭湯に入った記憶がある。

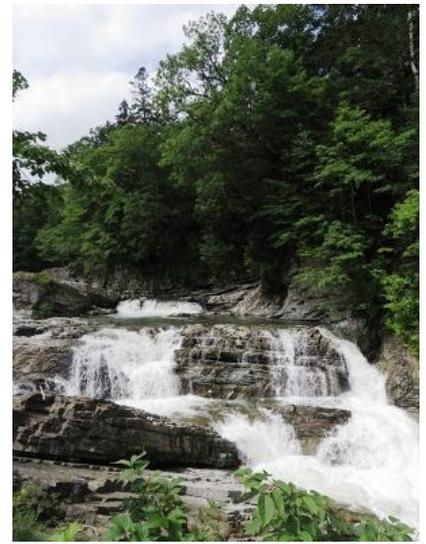


三笠から桂沢湖を通って富良野へ抜け東川へ向かった。芦別川沿いを芦別方面へ行く途中に三段の滝というのがあった。この道は今まで何回も通ったことがあるが、いつも素通りして寄ったことがない。



今回は時間も十分あるので初めて寄ってみた。トイレ付駐車場があつて結構多くの車が止まってゆくが、滝は下の方にあり山道を少し歩かなければならぬためか、みんな上の方からちょっと眺めるだけで出て行ってしまふ。

芦別川の石畳を三段になって流れる滝で、訪れる人も少なく、静かに楽しむことが出来た。



ここから富良野へ抜け、中富良野町、上富良野町へと北上し、美瑛町へ。

美瑛町では最近よく立ち寄るラベンダーの公園「セレブの丘」に寄つた。

太陽の日差しがキラキラで眩しくて暑いし、もうあまり珍しくもなく、新しく見るところも無いので、ちょっと上まで歩いてすぐ出てきた。

ここから東川はすぐ目と鼻の先、12時前に道の駅・東川道草館へ着いた。

昼食後、まだ時間があるし天気がいいので、ここ以外に車中泊できる場所がないか周辺を探索してみた。以前泊まった「大雪遊水公園」や「東神楽森林公園」など回ってみたが、どこもあまり設備が良くない。やはり道の駅が車中泊には一番いい。トイレは多くて水洗便座だし、駐車場は広いし、安心して寝られそうだ。

隣のガソリンスタンドでガソリンを入れ、近くのセイコーマートで今晚の晩飯と明日の朝食、旭岳での昼食を仕入れ16時前に駐車場に落ち着いた。何しろ日差しが暑いし気温も高いし蒸し暑い。気温は30℃を指している。暑いしやることも無いので、無事東川へ到着したことを祝ってビールで乾杯、夕食を始めた。



久しぶりで食うセイコーマートの100円惣菜がうまい。ビール大缶が2缶も空いた。

明日はいよいよ久しぶりで来た今回の北海道花紀行のメインイベント・旭岳～裾合平だ。

始発のロープウェイに乗るため4時過ぎに出よう。旅の疲れで酔いも回り、まだガンガンに明るいのに明日の夢を見ながら眠りに入った。

